

総合学習第3弾！ おじいさんおばあさんといっしょに

総合学習 3単元の保護者の方々向けへの説明文書です。少しお時間をいただきますが、どうぞお読みください。

今週の水曜日から総合学習、本年度3つ目の単元に入ります。1学期で年間105時間のうち、すでに55時間を学習しています。あと50時間の半分以上を使って学習するのが、表題にある**おじいさん、おばあさんといっしょに** (仮称) という単元です。内容は「福祉」です。目標は、**高齢者の方々との交流に関心を持ち、その方々の気持ちや願いを大切にしながら、楽しくふれあったり仲良くなったりする。また、幸せに生きることの大切さについて考えるとともに、身近な福祉活動に取り組むことができる**です。

* 余談ですが、附属小学校の総合学習の「福祉」領域の単元としては6年生の定番として「平川の幸楽苑とデイケアセンターのお年寄りと交流しよう 介護体験学習をしよう」というものがあります。この実践は私のホームページに載せていますのでお時間がある方はご覧ください。(子供が一ヶ月で劇的に変わります。)

3年生のこの時期に心身に障害があるお年寄りの方との交流は難しいところがあります。障害についての知的な理解が必要だからです。そこで、3年生では元気なお年寄りとの交流を通して、お年寄りに対する優しく確かな見方や考え方を養い、自分でできることを実践しようとする力を育成していきたいと考えています。

そこで、今回は、**白石地区の一人暮らし(ないしはそれに近い)お年寄りとの交流**を行うことにしました。白石公民館で行われている集会の一つに「一人暮らしのお年寄りが月1回集まって、手作業をしたり 歓談したり 食事をしたりする」というものがあります。その集会にお邪魔して、一緒に手作業をしたり お話をしたり お手伝いをしたり、自分たちのできることを発表したりするという活動を行います。その集会を企画運営されているのが、あの有名な**白石地区「あじさいの会」**です。先日も新聞の折り込みで紹介されていました。責任者の方は、 さんです。この道ではかなり有名な方で、とてもお忙しい方です。このボランティアグループの「あじさいの会」の方々の方々のことを見たり聞いたりすることも大切な学習です。

支えられて豊かな生活を送ろうとされているお年寄り」と支えることによって豊かな生活をされているボランティアグループの方々」の両方にかかわりながら、学習を進めます。

集会には、9月、10月、11月、12月の計4回(基本的には第2水曜日)お邪魔します。具体的な計画は、これから子供たちとあじさいの会の方々と相談しながら決めていきますが、何よりも1回参加してみて、子供も教師も、その集会在どのようなものかを肌で感じてくる必要があります。

第1回目の訪問は、今週11日水曜日の10:00からです。白石公民館(ウォークラリーの時どの子供も建物の中をのぞいています)は、歩いて10分もあれば着くとても近いところです。手作業として予定されているのは、**「アサリ貝を使った工作」**です。(それで、先週からあさり貝の殻を一人一つずつもってきてね!とお願いしていたのです。ご負担をおかけして申し訳ございません)お年寄りの方の人数の方がずっと少ないので、子供4、5人に対してお一人という割合になるかもしれませんが、できるだけいろいろなことを話して、いろいろなことを一緒にして、ふれあって帰りたいと思います。

そして、その体験をもとにして、自分たちのできることを考えていきます。3年生ですから、6年生の老人福祉施設の介護体験学習のように、大きな考え方の変化や行動の変化、は望むのは無理だと考えています。**一人暮らしのお年寄りと仲良く話をして、一緒に楽しく活動して、そして、ほんのちょっぴり自分のできるボランティア活動を考え実践できるようになってくれれば十分です**よね。楽しく話をするだけでも、とても価値ある学習です。そして、手紙をもってくとか、自分がつくったちょっとした手作りの品を差し上げるとか、それを一人一人が望んで行うことができたなら、すばらしいと思っています。

どうぞ、ご家庭でも子供の話を聞いてやってください。そして、価値づけ励ましてやってください。